

VoicePing エンタープライズ セキュリティチェックシート

音声翻訳・仮想オフィス | 法人向け導入評価用

概要	ご案内
対象サービス	VoicePingの音声翻訳と仮想オフィス（バーチャルオフィス）を対象とします。ライブ・イベント翻訳、ミーティングBot、ファイル文字起こし、ミーティングログ、共同作業、タイムトラッキングを利用機能ごとに評価します。モバイルのオフライン翻訳は端末内処理です。専用環境・オンプレミス構成は個別確認が必要です。
回答の基準	公開資料で確認できる仕様・方針を記載しています。利用プラン、機能、設定により回答の適用範囲が異なります。詳細の確認が必要な事項は「個別確認」とし、適用する契約に沿って確認します。
確認済	公開資料で仕様・方針を確認しています。
条件あり	プラン、機能、設定または契約による条件があります。
個別確認	この資料だけでは回答を確定できないため、個別の確認が必要です。
導入時の確認	主なクラウド基盤は日本・東京です。AI処理、CDN、通知連携などには国外処理があります。 顧客の音声・文字起こし等をAIモデル学習に使用しない方針と、外部サービスへの送信有無は別に確認します。 認証・アクセス制限にはプランや役割による条件があります。必要な設定を導入前に確認してください。 保持・削除はデータ種別ごとに確認します。在席履歴、作業時間、任意の画像取得を利用する場合は、対象者への説明と取得・閲覧設定を確認してください。
本PDFの使い方	分野別の質問と回答を確認し、利用する機能・設定・契約との適合性をご確認ください。追加の質問は弊社へお問い合わせください。

質問数	確認済	条件あり	個別確認
114	31	34	49

件数は回答の分類です。セキュリティの点数や全管理策の認証を示すものではありません。

製品・機能と適用範囲

製品・機能	利用内容と確認対象
ライブ音声翻訳	対面・オンラインの音声を文字起こし・翻訳。音声取得元と字幕・翻訳音声の共有先を確認。
イベント翻訳	イベント参加者へ字幕・翻訳音声配信。リスナー用URL・QRと参加用パスワード、イベント利用条件を確認。
ミーティングBot	対応するZoom・Google Meet・Microsoft Teamsの会議へBotが参加。入室許可、任意のカレンダー連携、記録の共有を確認。
ファイル文字起こし・翻訳	アップロードした音声・動画から文字起こし、翻訳、字幕、吹替等を生成。入力ファイルと出力物の取扱いを確認。
ミーティングログ (議事録・AI要約)	利用した機能の会話記録やファイル処理結果を確認・共有。保存、閲覧範囲、エクスポート、API・MCP接続を確認。
仮想オフィス (バーチャルオフィス)	在席状況、フロア・会議室、通話・翻訳、画面共有等の共同作業。メンバー・ゲストの参加権限と共有範囲を確認。
タイムトラッキング (作業時間管理)	プロジェクト・作業メモ・時間を記録。任意のデスクトップ画像、Webカメラ画像、入力アクティビティは個別の設定を確認。
モバイルのオフライン翻訳	モデル取得後に端末内で文字起こし・翻訳。クラウド機能と分けて、端末上の記録・削除・持出しを確認。

利用する機能を特定して評価してください。提供範囲、上限、設定は適用するプランと契約によって異なります。

ガバナンス・認証			
項目	質問	回答区分	回答
GOV-01	提供事業者とサービスは明確か	確認済	提供事業者はVoicePing株式会社。音声翻訳と仮想オフィスを提供し、文字起こし・会議要約、ファイル処理、共同作業、作業時間管理等の機能を含みます。 利用する製品・機能とプランを契約時に特定してください。
GOV-02	情報セキュリティ認証を取得しているか	確認済	ISO/IEC 27001:2022認証を取得していることを公式資料で公開しています。 組織の情報セキュリティマネジメントシステムに関する認証です。
GOV-03	認証の対象範囲と有効性を確認できるか	個別確認	認証の対象範囲と現在の有効性は、最新資料で個別に確認します。
GOV-04	第三者による評価について確認できるか	個別確認	第三者による評価の実施状況と資料の提供については、個別にお問い合わせください。
GOV-05	SOC 2報告書・Pマーク等の追加資料はあるか	個別確認	SOC 2保証報告書やPマーク等の認証について、提供・取得の有無と最新資料を個別に確認します。
GOV-06	セキュリティ方針と管理責任を定めているか	個別確認	セキュリティ方針と管理責任の詳細は、個別にお問い合わせください。
GOV-07	リスク評価・資産管理を行っているか	個別確認	リスク評価と資産管理の詳細は、対象範囲を定めて個別に確認します。
GOV-08	従業員のセキュリティ意識を管理しているか	個別確認	従業員に関するセキュリティ管理の詳細は、個別にお問い合わせください。
GOV-09	セキュリティ管理の評価体制を確認できるか	個別確認	セキュリティ管理の評価体制とその確認方法は、個別にお問い合わせください。
GOV-10	従業員・委託先に秘密保持義務を定めるか	確認済	個人データを扱う者の秘密保持と処理委託先のデータ保護義務を、公開方針・契約文書で定めています。 顧客指定の秘密保持契約等は、対象プランと契約条件を確認します。
GOV-11	個別調査・証跡提供・顧客監査に対応するか	条件あり	セキュリティ調査、資料提供、秘密保持契約、顧客監査への対応は、対象プランと契約条件を確認して調整します。 追加の質問や必要な資料は、弊社へお問い合わせください。
GOV-12	法令・規格への適合を一律保証するか	個別確認	個人情報保護方針を公開しています。業界固有基準、GDPR、医療・金融要件などは、利用地域とデータに応じて適合性を個別確認します。 認証取得のみで全法令・全業界基準への適合を断定しません。
GOV-13	情報セキュリティ管理策の適用範囲を確認できるか	個別確認	管理策の適用範囲や詳細資料の提供については、個別にお問い合わせください。
GOV-14	供給者・委託先の管理について確認できるか	個別確認	供給者・委託先の選定と管理の詳細は、個別にお問い合わせください。

データ保護・プライバシー			
項目	質問	回答区分	回答
DAT-01	処理するデータの種別は何か	確認済	アカウント情報、音声・動画、文字起こし・翻訳・要約、共有コンテンツ、IP・端末情報等処理します。仮想オフィスでは在席状況・履歴、作業メモ・時間、任意の画像・入力アクティビティも対象となります。 収集対象は利用機能と設定によって異なります。任意の取得はUSE-14を参照してください。
DAT-02	顧客データの利用目的と役割は明確か	確認済	顧客コンテンツは顧客の指示に従って処理します。アカウント・請求・サポート・セキュリティ運用等は別の利用目的として定めています。 保守対応や法令対応を含む詳細はプライバシーポリシーをご確認ください。
DAT-03	クラウド基盤と主な保管場所はどこか	確認済	主なクラウド基盤はAWSとGCPの日本・東京リージョンです。配信基盤としてCloudflareを利用します。 クラウド事業者とVoicePingの管理責任を区別します。国外処理はDAT-04、バックアップの対象・保管先はOPS-04を参照してください。
DAT-04	海外での処理・再委託はあるか	条件あり	CDN・AI・通知連携には国外処理があります。サービス別の処理先・用途・対象データは「データ取扱い」表に記載しています。 国内完結や国外アクセス禁止が必須の場合は個別合意が必要です。
DAT-05	通信を暗号化するか	確認済	公式仕様ではアプリケーション・音声・映像の通信にTLS 1.3を使用し、HTTPSを強制しています。 顧客が別途行うファイル送付や外部連携先の通信条件は別確認です。
DAT-06	保存データを暗号化するか	確認済	公開DPAはDB・ファイルストレージのAES-256暗号化を規定し、プライバシーポリシーは音声のAES-256暗号化を記載しています。 個別保存先の構成証跡は必要に応じて確認します。鍵管理とBYOK/CMK等の確認事項はINF-12を参照してください。
DAT-07	企業間でデータを分離するか	確認済	企業ごとのデータをデータベース上で論理的に分離する設計です。 顧客専用DBや物理分離を標準仕様として保証する回答ではありません。
DAT-08	音声の保持期間は何か	条件あり	プラン・設定に応じて最大3か月保持することを公開しています。期間超過後は削除されます。 音声の保持期間を他のデータ種別に一律適用しません。長期保存は事前に相談し、必要データを期限前に取得してください。
DAT-09	議事録・要約の保持期間は何か	個別確認	議事録案内は有料セルフサービスで最大1年、Enterpriseは契約条件によると記載。プライバシーポリシーは契約期間中と記載しており、適用契約・実設定を確認します。 本シートでは1年または無期限の一律保証をしません。
DAT-10	動画録画の保持期間は何か	条件あり	料金・保存案内は録画データを1か月で削除すると記載しています。 会議の録画と、アップロードした動画・生成した字幕や吹替・タイムトラッキング画像の保持を混同せず、対象機能ごとに確認してください。
DAT-11	ログ種別ごとの保持・識別子削除はどう扱うか	個別確認	料金案内はイベントログ・オンラインログ・作業ログを有料プランで18か月、プライバシーポリシーはアクセスログを必要最小期間と記載しています。画像等も含む実際の保持・削除対象は個別に確認します。 個人識別子は有効な削除依頼から30日以内に削除・匿名化する方針です。
DAT-12	解約後に自動で全データを消去するか	条件あり	公開方針では、契約終了後も権限者の削除操作または削除依頼まで保持し、有効な依頼後30日以内に削除します。法令上の保持義務は例外です。 解約手続とデータ削除依頼は別に必要です。終了時の顧客側の作業はUSE-09、バックアップの消去範囲はDAT-13を参照してください。
DAT-13	バックアップも含む完全消去を確認できるか	個別確認	バックアップの保存期間、複製先、消去反映、法令保持、削除証明の範囲を個別確認します。 画面からの削除だけで全複製の即時物理消去を保証しません。
DAT-14	データの開示・訂正・削除を依頼できるか	確認済	本人確認を伴う開示・訂正・利用停止・消去の依頼窓口と手続を公開しています。 対象者の権限、依頼範囲、法令上の例外を確認して対応します。
DAT-15	媒体・機器の廃棄と再利用を管理するか	個別確認	媒体・機器の廃棄と再利用の管理については、対象範囲を定めて個別に確認します。
DAT-16	会社文書の社外共有に管理ルールがあるか	個別確認	会社文書の社外共有に関する管理の詳細は、個別にお問い合わせください。

認証・権限管理			
項目	質問	回答区分	回答
IAM-01	利用者を個別アカウントで管理するか	確認済	原則として1ユーザー1アカウントで管理します。 字幕用URL・QRのリスナーと、仮想オフィスのゲスト用Webアプリは異なる参加方式です。機能別の扱いはUSE-04を参照してください。
IAM-02	2段階認証に対応するか	条件あり	有料プランではワークスペース全員へのメールトークン2段階認証を設定できます。Google・Appleアカウントでのサインインにはメール認証不要の例外があります。 例外経路の認証強度とSSOとの組合せを導入時に確認してください。
IAM-03	SSOを利用できるか	条件あり	Enterpriseプラン向けにMicrosoft Entra IDおよびHENNGE OneとのSSO設定手順を公開しています。 対象プラン、IdP設定、利用ドメインを確認してください。
IAM-04	SSOの強制・代替ログインを制御できるか	条件あり	Entra IDの公式手順では、SSO有効時はメンバーにSSO認証を必須とし、オーナーとマネージャーはSSO以外でもログイン可能とされています。 管理者例外の保護、他IdPでの挙動、IdP停止時のアクセスを導入時に確認してください。
IAM-05	接続元IPを制限できるか	条件あり	有料プランのIP Restriction機能を提供しています。公式案内ではマネージャー・メンバーに適用し、オーナーは例外とされています。 オーナーの保護、ゲスト・API経路、許可IP/CIDRの範囲を導入時に確認してください。
IAM-06	認証後にロール別の操作権限を確認するか	確認済	利用者の認証に加え、ロール・ワークスペース・共有設定に応じた認可を行う設計です。オーナー、マネージャー、メンバー、外部ゲストで操作権限を区別します。 ワークスペース削除・請求管理はオーナー権限です。企業間のデータ分離はDAT-07、グループ・機能アクセスの設定はIAM-08を参照してください。
IAM-07	メンバーの追加・削除・権限変更は可能か	確認済	オーナーとマネージャーがメンバーの追加・削除・役割変更を管理できます。 現オーナーの削除には所有権移譲が必要です。
IAM-08	グループ・機能別アクセスを設定できるか	確認済	メンバーごとにグループ・フロア・プロジェクトや翻訳・仮想オフィス等の機能アクセスを設定できます。 顧客の部署構成に合わせて最小限の権限を設定してください。
IAM-09	会議・ファイル処理の記録を適切な範囲に共有できるか	条件あり	ミーティングログ（議事録）の閲覧権限と共有設定を管理します。Bot、仮想オフィス、ファイル処理など、記録の作成元と共有方式に応じて閲覧者を確認してください。 フロアへの参加権限と記録の共有設定をそれぞれ確認します。参加経路はUSE-04、取得済みコピーはUSE-07を参照してください。
IAM-10	セッションID・Cookieを保護するか	確認済	予測困難なセッションIDをCookieで管理し、Secure・HttpOnly属性を使用する仕様を公開しています。 URLへのセッションID埋込みは行わない設計です。
IAM-11	セッション期限・失効を管理できるか	個別確認	セッション失効機能の記載があります。絶対期限、無操作期限、端末別失効、SSO連動失効の実設定は個別確認します。 永続ログインとブラウザ終了時失効を混同しません。
IAM-12	パスワードの強度・保存方式は何か	個別確認	利用者によるパスワード変更に対応します。現在の長さ・複雑性・ハッシュ設定・再利用制限は最新技術証跡で確認します。 具体的な認証要件がある場合は、導入前にお問い合わせください。
IAM-13	不正ログイン・試行回数を制限するか	個別確認	ログイン試行制限、ロック条件、解除方法、CAPTCHAやレート制限の対象・閾値は個別確認します。 製品の利用者認証と運用担当者の特権アクセスを分けて確認します。
IAM-14	自動プロビジョニング・休眠ID停止に対応するか	個別確認	SCIM、IdP連動削除、休眠アカウント自動停止の提供範囲は個別確認です。 標準のメンバー管理機能だけで自動連携を保証しません。
IAM-15	顧客側でアカウント棚卸ができるか	確認済	管理画面でメンバーと役割を確認し、メンバー一覧をCSV出力できます。 異動・退職時の削除や定期的な権限棚卸は顧客側で運用してください。

認証・権限管理			
項目	質問	回答区分	回答
IAM-16	運用者の特権アクセスを制限するか	個別確認	運用者の権限範囲、認証、承認、操作記録については、個別に確認します。
IAM-17	従業員IDの発行・変更・棚卸を管理するか	個別確認	従業員アカウントの発行・変更・権限見直しについては、個別にお問い合わせください。
IAM-18	退職時の権限停止と貸与品返却を行うか	個別確認	退職時のアクセス停止と貸与品返却については、個別にお問い合わせください。

基盤・端末・監視			
項目	質問	回答区分	回答
INF-02	ネットワークアクセスを制御するか	確認済	公式資料はAWS Security Groupsによるサーバー・DBの接続元IP制限を記載しています。 実際の構成図・許可経路の詳細は開示範囲を調整します。
INF-03	継続的な脅威検知を行うか	確認済	AWS GuardDutyによる不審なアクティビティの継続的検知を公開しています。 脅威検知とファイルのリアルタイムウイルス検査は別の対策です。
INF-04	WAFを全公開サービスに適用しているか	個別確認	WAFの対象ドメイン・API・ルール・例外・ログ運用を個別確認します。 CDNやDDoS対策の利用だけで全経路へのWAF適用を保証しません。
INF-05	DDoS対策を実施しているか	条件あり	Cloudflareをコンテンツ配信・DDoS対策に利用することを公開しています。 対象経路、契約サービス、攻撃規模への保証条件は個別確認です。
INF-06	ウイルス対策・EDRの対象は何か	個別確認	ウイルス対策・EDRの対象範囲と対応状況は、個別に確認します。
INF-07	システム稼働を監視するか	確認済	CloudWatchまたは独自アラートでプロセス・システム状態を監視し、停止時に通知する仕様を公開しています。 自動監視は24時間有人窓口の保証とは異なります。
INF-08	操作履歴を管理者が確認・出力できるか	条件あり	Event Logで操作者・操作内容・日時・接続元IPを確認できます。期間・メンバー・カテゴリで絞り込み、CSVまたはPDFに出力できます。 閲覧権限とプランの適用条件を確認してください。保持期間はDAT-11、SIEMへの常時転送・WORM保存・改ざん防止はINF-14を参照してください。
INF-10	従業員端末・ソフトウェアを管理するか	個別確認	従業員端末・ソフトウェアの管理方針と適用範囲は、個別にお問い合わせください。
INF-11	物理セキュリティを管理するか	個別確認	事業所とデータセンターの物理的対策は、対象範囲を定めて個別に確認します。
INF-12	鍵・秘密情報を管理するか	個別確認	鍵・秘密情報の管理方式、顧客管理鍵への対応などは、必要な要件に応じて個別に確認します。
INF-13	離席時の画面・机上情報を保護するか	個別確認	従業員端末の画面ロックと机上情報の保護については、個別にお問い合わせください。
INF-14	ログを改ざん・不正削除から保護するか	個別確認	ログの改ざん・不正削除防止、保管方式、外部監視システムへの連携は、個別に確認します。
INF-15	システム時刻を同期する方針があるか	個別確認	時刻同期の対象と管理方法については、個別にお問い合わせください。

アプリケーション・開発			
項目	質問	回答区分	回答
APP-01	SQLインジェクション対策は何か	確認済	ORM・ プレースホルダーを使ったDB操作と、DB権限の限定を公式資料で公開しています。 診断の対象・ 実施日・ 結果は別項目で確認します。
APP-02	OSコマンド注入を防ぐか	確認済	原則としてシェルを起動せず、必要な処理は確認済みライブラリを介する設計を公開しています。 例外経路の検証は個別の技術証跡で確認します。
APP-03	ディレクトリトラバーサル対策は何か	確認済	Webサーバー内のファイルへ直接アクセスする機能を設けず、ランダムなファイル名等を用いる設計です。 アップロード・ ダウンロードの個別APIは必要時に確認します。
APP-04	XSS対策は何か	確認済	フロントエンドライブラリの利用、文字コード指定等のXSS対策を公開しています。 CSPの対象と最新設定値は個別確認です。CookieのHttpOnly等の保護属性はIAM-10を参照してください。
APP-05	CSRF対策は何か	条件あり	POSTを用いるアクセス制御、Referer確認、重要操作の通知を公開しています。 POSTや通知のみを十分な対策とせず、トークン・ Origin検証等の範囲を確認します。
APP-06	HTTPヘッダ注入を防ぐか	確認済	ヘッダ出力用APIを利用する対策を公開しています。 入力値の扱い、レスポンス分割対策の試験証跡は個別確認です。
APP-07	メールヘッダ注入を防ぐか	個別確認	メールヘッダの検証と改行処理については、現在の対応範囲を個別に確認します。
APP-08	クリックジャッキング対策は何か	確認済	X-Frame-Optionsを出力する設計を公開しています。 埋込みが必要な機能、例外、CSP frame-ancestorsの範囲は個別確認です。
APP-09	メモリ破壊リスクへの対処方針は何か	条件あり	公式仕様ではNode.js等の利用を記載しています。実行環境の性質だけで、ネイティブコードや依存コードの脆弱性がなくなるとは断定しません。 依存ライブラリの脆弱性確認・ 更新手順はAPP-16を参照してください。
APP-11	開発・ 変更管理を整備しているか	個別確認	開発・ 変更管理の詳細については、対象製品と確認範囲を定めて個別にお問い合わせください。
APP-12	第三者の脆弱性診断を実施しているか	個別確認	外部専門機関による診断の対象、実施時期、対応状況については、個別に確認します。
APP-13	開発・ 試験・ 本番環境を分離するか	個別確認	開発・ 試験・ 本番の環境分離については、対象構成に応じて個別に確認します。
APP-14	テストデータの個人情報を保護するか	個別確認	試験データの利用範囲と個人情報の保護方法については、個別にお問い合わせください。
APP-15	別担当者によるコードレビューを行うか	個別確認	コードレビューの実施方法と対象範囲については、個別にお問い合わせください。
APP-16	脆弱性情報の収集と修正を管理するか	条件あり	公式資料では依存ライブラリの脆弱性確認と更新について記載しています。 重大度別の対応期限や個別の対応状況は、必要な要件に応じて確認します。
APP-17	開発中のセキュリティ試験を確認できるか	個別確認	開発中のセキュリティ試験の対象・ 確認方法については、個別にお問い合わせください。

可用性・事業継続・事故対応			
項目	質問	回答区分	回答
OPS-01	サービス提供時間は何か	確認済	原則24時間365日のサービス利用を公開しています。 計画保守・障害・個別契約による条件があります。
OPS-02	SLAの稼働率は何か	条件あり	公式資料は99.9%以上を案内しています。 算定方法、計画停止、免責、補償や返金は適用契約で確認します。
OPS-03	直近期間の稼働実績を確認できるか	個別確認	対象期間と測定方法を定めた最新の可用性実績を確認します。 期間不明の累積実績を直近12か月の実測値として使用しません。
OPS-04	バックアップを取得しているか	個別確認	バックアップの取得対象、頻度、保存場所・期間は、個別に確認します。
OPS-05	事業継続体制について確認できるか	個別確認	事業継続体制と確認可能な資料については、個別にお問い合わせください。
OPS-06	RTO・RPOと復旧能力を保証できるか	個別確認	目標復旧時間 (RTO) ・ 目標復旧時点 (RPO) は、必要なサービス範囲と契約条件に応じて個別に確認します。
OPS-07	保守と仕様変更を通知するか	条件あり	保守・仕様変更に関する連絡を案内しています。 個別の実施日時と通知条件は、利用契約に応じて確認します。
OPS-08	障害連絡とサポート窓口は何か	確認済	メール・アプリ内チャット・問い合わせフォームによる連絡を案内しています。 営業時間と緊急連絡条件を確認してください。通常応答目安を固定応答SLAと扱いません。
OPS-09	インシデント対応手順はあるか	個別確認	インシデント対応体制と対応範囲については、個別にお問い合わせください。
OPS-10	セキュリティ事象について個別に確認できるか	個別確認	セキュリティ事象に関する説明は、対象期間と開示範囲を確認したうえで個別に対応します。
OPS-11	顧客への障害通知目標を定めているか	個別確認	障害時の通知対象、連絡方法、通知期限は、適用契約に基づき個別に確認します。
OPS-12	事故の証拠保全・対応記録を定めるか	個別確認	事故対応時の証拠保全と記録の取扱いについては、個別にお問い合わせください。

AI・外部連携			
項目	質問	回答区分	回答
AI-01	顧客の音声・文字起こし等をAI学習に使うか	確認済	顧客の音声・文字起こし等をAIモデルの学習・開発に使用しない方針を公開しています。外部サービスの利用と学習利用の有無は分けて確認します。
AI-02	外部AIへ送信するデータと場所は何か	条件あり	公開資料ではOpenAIを会議要約・テキスト分析に利用し、米国での処理を記載しています。採用機能・処理内容に応じて現在のモデル、送信データ、処理先を確認します。
AI-03	外部AI側の保持期間は何か	条件あり	公開方針はVoicePingで使用するOpenAI APIのゼロデータ保持設定を記載しています。顧客が独自接続するAIや一般消費者向けサービスには自動適用されません。最新設定証跡は個別確認です。
AI-04	AI出力の正確性を保証するか	条件あり	翻訳・文字起こし・要約・字幕・吹替等のAI出力は、元の音声・動画・会話記録と照合し、重要な判断や対外利用前に顧客側で確認してください。 顧客側の確認事項です。100%の正確性を約束する資料ではありません。
AI-05	AI機能の無効化・モデル固定は可能か	個別確認	AI要約の利用範囲、管理者による一括制御、モデル固定、変更通知、プロンプト保持の要件を個別確認します。個々の機能設定と全社ポリシー強制を区別します。
AI-06	外部AI・APIからミーティングログにアクセスできるか	条件あり	MCP対応AIクライアントとAPIキーによる外部アクセス機能を提供しています。管理者が接続を管理します。連携先側の保持・学習利用・アクセス権も顧客側で評価してください。
AI-07	API・MCPの権限範囲を限定できるか	確認済	議事録一覧検索、本文読取り、AI要約読取りをスコープで区別します。APIキーには許可IPの制限を設定できます。用途ごとに必要最小限のスコープを設定してください。
AI-08	外部接続を停止・削除し監査できるか	確認済	MCP接続・APIキーを無効化、再有効化、削除できます。発行・承認・無効化等はイベントログに記録されます。流出が疑われるキーは停止し、連携先の保存データも確認してください。
AI-09	通知連携の送信内容・宛先を管理するか	条件あり	有効にした通知連携に応じて、通知本文や会議要約が送信されます。顧客は送信先・公開チャンネル・送信内容を確認してください。Slack・Discord・Chatworkの処理国と用途は「データ取扱い」表を参照してください。
AI-10	EU向けDPAは締結可能な状態か	個別確認	EU向けDPAの締結可否、代理人、データ移転条件は、最新版で個別に確認します。本資料によってDPA締結やGDPR適合が確定するものではありません。

利用形態・顧客側の管理			
項目	質問	回答区分	回答
USE-01	モバイルでオフライン処理できるか	条件あり	iOS・AndroidのOffline Transcriptは、事前にモデルを取得した後、端末内で音声の文字起こし・翻訳を行います。クラウド機能・Web会議Botとは別の処理方式です。
USE-02	オフライン記録を削除できるか	確認済	オフライン記録は使用端末の履歴から確認・削除できると案内しています。端末紛失、OSバックアップ、持出し制限は顧客の端末管理も必要です。
USE-03	PC・サーバーも完全オフラインか	個別確認	標準クラウド機能とモバイルのオフライン機能を区別します。PCの閉域利用や専用・オンプレミス構成は要件を確認します。モバイル対応を全製品のオフライン対応とみなしません。
USE-04	字幕リスナーと仮想オフィスのゲスト参加を管理できるか	条件あり	字幕リスナーはURL・QRで閲覧し、仮想オフィスのゲストは有効化したゲスト用Webアプリへ招待URLで参加します。それぞれの共有先と参加設定を確認してください。リンクの配布先、必要なパスワード、本人確認、対象プランを設計してください。組織外向け字幕配信はイベント利用条件も確認します。
USE-05	録音・文字起こし等の告知や権限は誰が管理するか	条件あり	会議・イベント・仮想オフィスでの録音や文字起こし、ファイル処理に必要な権限、参加者への説明と必要な同意を顧客側で確認してください。適用法令、社内規程、機密区分に応じた顧客側の確認事項です。
USE-06	機密・要配慮情報を利用できるか	個別確認	対象データの種類、処理目的、法的根拠、送信先、保存条件を確認して利用可否を判断します。機密性の高い情報を無条件で投入可能とは回答しません。
USE-07	エクスポート後のデータを保護できるか	条件あり	取得した議事録・録音、字幕・吹替、共有資料、作業時間レポート等は、顧客の保管先、共有権限、保存期限の管理対象です。サービス内のアクセス権変更だけで取得済みコピーを回収するものではありません。
USE-08	導入時に確認する設定は何か	条件あり	音声翻訳と仮想オフィスの利用機能・プラン・実設定を確認してください。認証はIAM各項目、記録共有はIAM-09、外部接続はAI-06からAI-08、保持はDAT-08からDAT-11、機能別の注意点はUSE-10からUSE-15を参照。顧客側で要件に必要な機能の利用資格、管理者と適用設定を確認してください。
USE-09	終了時のデータ返却・アクセス停止は何か	条件あり	顧客側では必要データの取得、外部接続の停止 (AI-08)、不要IDの削除 (IAM-07)、契約終了、データ削除依頼 (DAT-12) をそれぞれ管理してください。解約・権限削除・個人データ消去は別の状態です。
USE-10	会議Botの入室とカレンダー連携を管理するか	条件あり	対応するWeb会議に表示されるBotが参加し、主催者側の入室許可に従います。Google Calendar・Outlookとの連携は利用時に設定します。顧客側で対象会議、連携アカウントと権限、録音告知、記録の共有先を確認してください。
USE-11	ファイル処理の入力と生成物を管理するか	条件あり	アップロードした音声・動画から文字起こし・翻訳等を生成し、対応する字幕や吹替の出力を利用できます。処理結果はミーティングログで確認します。入力する権限、生成物の共有・取得、対象形式と機能、保存・削除条件を確認してください。
USE-12	仮想オフィスの在席表示と履歴を区別できるか	条件あり	仮想オフィスは在席状況や作業メモを表示します。オンラインログを利用する場合は在席の履歴を確認でき、プロジェクト単位の作業時間管理とは区別されます。対象者への説明、必要な表示・履歴、閲覧者と保持期間を確認してください。

利用形態・顧客側の管理			
項目	質問	回答区分	回答
USE-13	仮想オフィスの共同作業で共有範囲を確認するか	条件あり	フロアや会議室で画面共有、テキストエディタ、ホワイトボード等を利用できます。画面共有はデスクトップ全体または対象ウィンドウを選びます。 参加者・ゲストと共有対象を確認し、通知や別ウィンドウ等からの意図しない情報表示に注意してください。
USE-14	作業時間管理の任意の取得と閲覧権限を設定できるか	条件あり	タイムトラッキングとデスクトップ画像・Webカメラ画像・入力アクティビティはメンバー単位の別設定です。オーナー・マネージャーはチームのログ、メンバーは自分のログを確認します。 利用する取得項目、間隔・ぼかし、対象者への説明、閲覧権限、保持期間を確認してください。タイマーの実行にはPCアプリが必要です。
USE-15	リモートデスクトップ操作の利用を管理するか	条件あり	共同作業には、共有画面に対する遠隔操作のリクエストと、共有者による遠隔操作の解除が案内されています。 顧客側で利用可否、相手の確認、対象端末・画面、操作終了時の解除を管理してください。細かな制限や操作記録の要件は個別確認です。

データ取扱い・ 外部処理

事業者・ 処理先	用途	場所	対象データ例	確認事項
AWS	クラウド基盤・ 保存・ 監視	日本 (東京)	顧客コンテンツ、アカウント・ 運用情報等	基盤として利用。バックアップの複製先は別途確認。
GCP	DB・ 静的ホスティング	日本 (東京)	DB情報、静的コンテンツ等	基盤として利用。対象サービスの構成を確認。
Cloudflare	CDN・ DDoS対策	グローバル	IP、リクエスト情報、キャッシュ等	全処理が国内に限定されるわけではありません。
OpenAI	会議要約・ テキスト分析	米国	文字起こし・ テキスト等	該当AI機能に適用。音声認識全体の委託先一覧とは異なります。
Slack / Discord	会議要約等の通知	米国	通知内容・ 会議要約等	有効にした通知連携に応じます。
Chatwork	会議要約等の通知	日本	通知内容・ 会議要約等	有効にした通知連携に応じます。
顧客が接続するAI・ 自社システム	API / MCPでのデータ取得	連携先による	許可スコープ内の議事録・ AI要約等	顧客が連携先の契約・ 保持・ 学習利用・ 権限を確認。
顧客が接続する会議・ カレンダーサービス	会議Botの参加・ 予定の連携	連携先・ アカウント設定による	会議リンク、予定情報、会議中の音声・ 映像等	Zoom・ Google Meet・ Microsoft Teams、Google Calendar・ Outlook等。接続権限と相手側の保存条件を確認。
モバイル端末 (オフライン)	端末内文字起こし・ 翻訳	使用端末内	オフライン音声・ テキスト	モデルの事前取得が必要。端末管理は顧客側で実施。

利用する機能によって処理先が異なります。本表にはクラウド委託先のほか、顧客が接続する外部サービスとオフライン端末を含みます。すべてが再委託先に該当する一覧ではありません。各機能のデータ種別、処理場所、保持・ 削除、契約を確認してください。

公開参照資料

各版で共通の公開資料を参照しています。確認日は資料を確認した日付です。

資料名	URL	確認日	内容
公式セキュリティ仕様	https://manual.voiceping.net/ja/security	2026-09-08	暗号化、認証、アクセス制御、監視等の公開仕様。
プライバシーポリシー	https://manual.voiceping.net/ja/privacy-policy	2026-09-08	利用目的、委託先、保存場所、保持・削除。
GDPR DPA 公開版	https://manual.voiceping.net/en/gdpr-dpa	2026-09-08	個人データ処理と国際移転の条件。適用時は最新版を確認。
メンバーの種類と権限	https://manual.voiceping.net/ja/member-roles	2026-09-08	ワークスペースの役割と権限。
メンバー管理	https://manual.voiceping.net/ja/member-management	2026-09-08	メンバーの管理と一覧出力。
Microsoft Entra ID SSO	https://manual.voiceping.net/ja/sso-entra-id	2026-09-08	Microsoft Entra IDによるSSO設定。
HENNGE One SSO	https://manual.voiceping.net/ja/sso-henнге-one	2026-09-08	HENNGE OneによるSSO設定。
IP Restriction	https://manual.voiceping.net/ja/ip-whitelist	2026-09-08	接続元IPの制限。
Event Log	https://manual.voiceping.net/ja/event-log	2026-09-08	操作履歴の確認・絞り込み・出力。
会議議事録とAI要約	https://manual.voiceping.net/ja/meeting-minutes	2026-09-08	会議記録、共有、AI要約。
モバイルのオフライン翻訳	https://manual.voiceping.net/ja/mobile-offline-translation	2026-09-08	モバイルの端末内処理と履歴管理。
外部アクセス	https://manual.voiceping.net/ja/external-access	2026-09-08	API・MCP接続の管理。
料金プラン・データ保存案内	https://manual.voiceping.net/ja/pricing	2026-09-08	プランとデータ保存の案内。
VoicePing公式サイト	https://voiceping.net/	2026-09-08	サービスと法人向け機能の案内。
メンバー招待と2段階認証	https://manual.voiceping.net/ja/invite-members	2026-09-08	メンバー招待とメール認証の手順。
仮想オフィス製品案内	https://voiceping.net/en/products/virtual-office/	2026-09-08	在席、共同作業、フロア、ゲスト参加。
タイムトラッキング製品案内	https://voiceping.net/en/products/time-tracking/	2026-09-08	作業時間、任意の取得、閲覧権限、出力。
ミーティングBot製品案内	https://voiceping.net/en/products/meeting-bot/	2026-09-08	会議への参加、カレンダー接続、記録。
ファイル文字起こし製品案内	https://voiceping.net/en/products/video-translation/	2026-09-08	アップロード、翻訳、字幕、吹替と出力。
タイムトラッキングの管理	https://manual.voiceping.net/ja/time-tracking-management	2026-09-08	メンバーごとの取得設定、間隔・ぼかし。
フロアへの外部ゲスト招待	https://manual.voiceping.net/ja/guest-invitation	2026-09-08	ゲスト用Webアプリと招待リンク。
共同作業ツール	https://manual.voiceping.net/ja/collaboration-tools	2026-09-08	画面共有、エディタ、ホワイトボード、遠隔操作。